

女川原子力発電所 2号機 の状況について

東通原子力発電所
(沸騰水型軽水炉)

・1号機 110万kW

女川原子力発電所
(沸騰水型軽水炉)

- ・1号機 廃止措置中
- ・2号機 82万5千kW
- ・3号機 82万5千kW

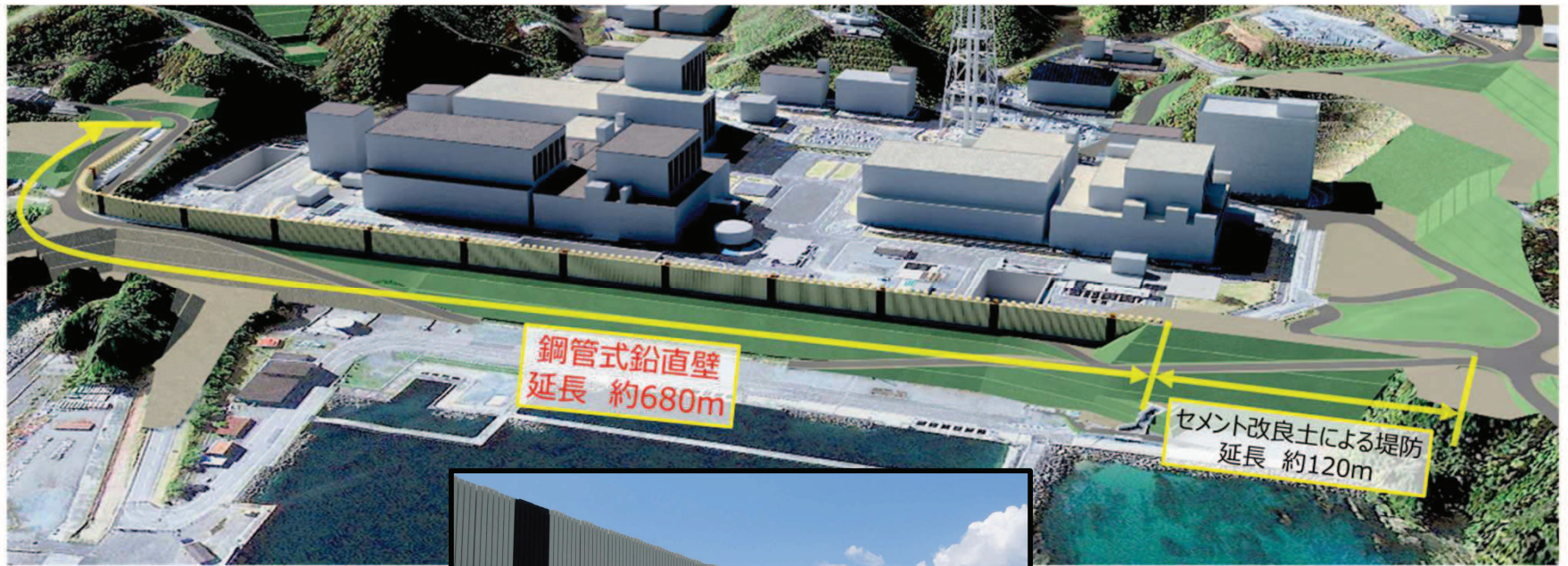


女川原子力発電所全景

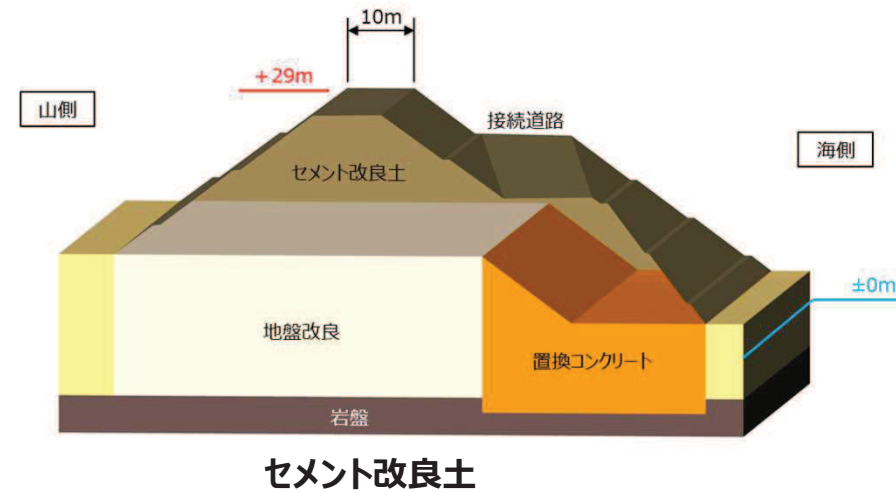
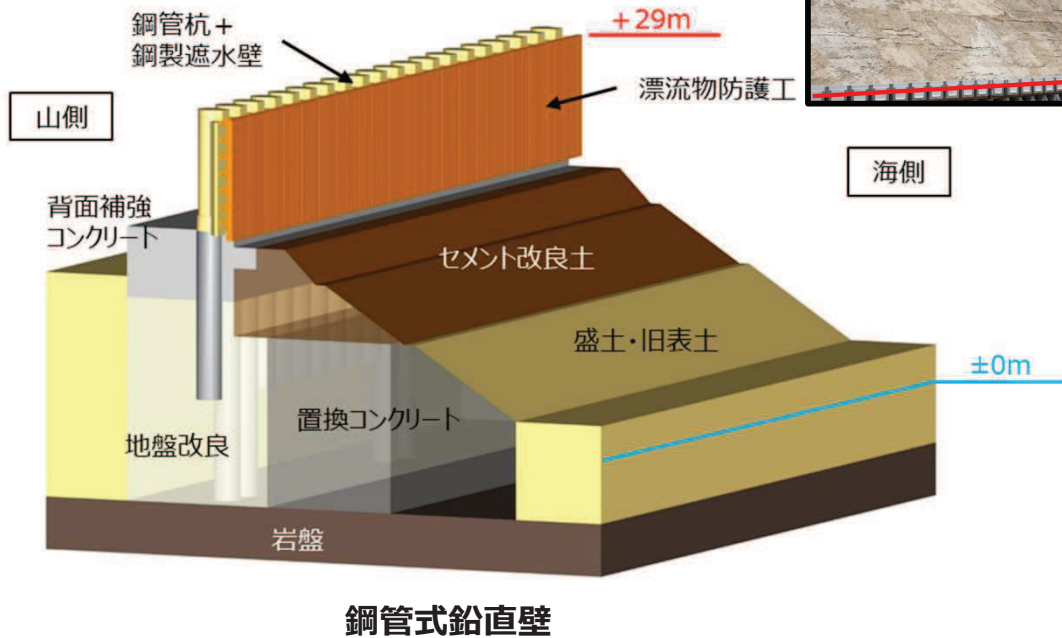


安全対策の実施状況 - 主な工事状況① -

■防潮堤 かさ上げ工事

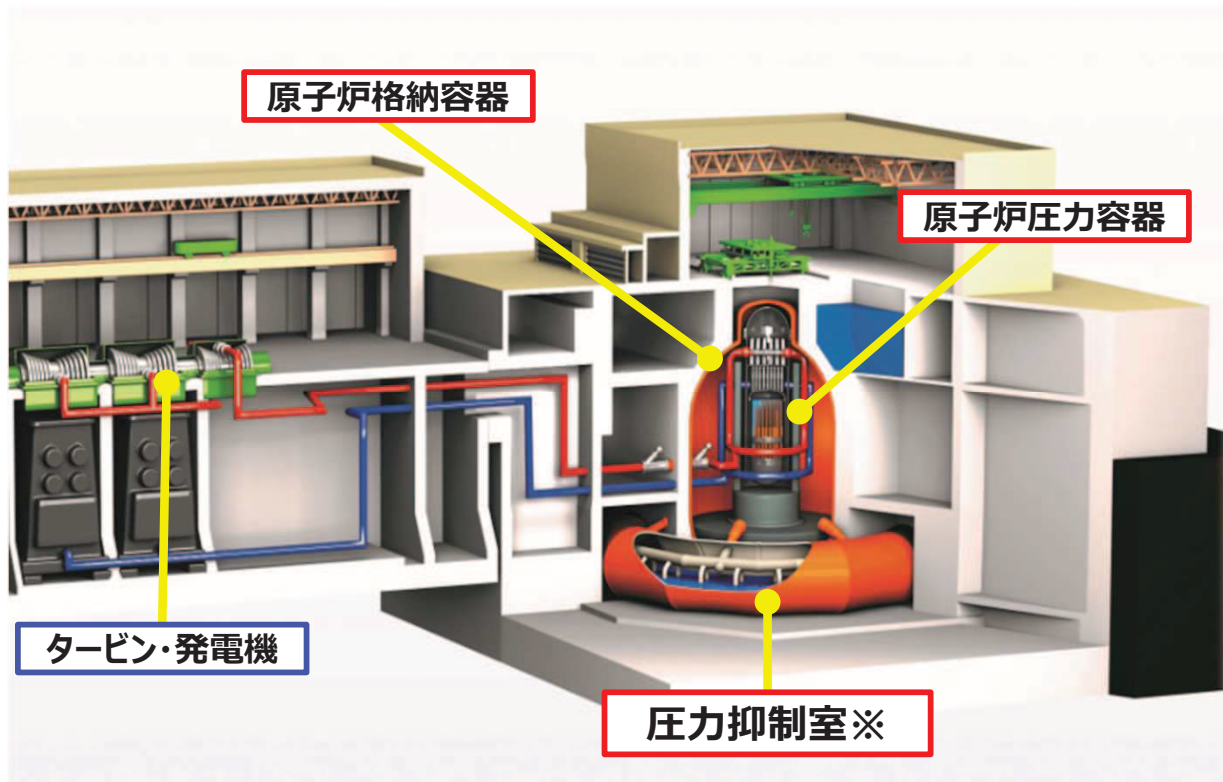


現在、防潮堤（セメント改良土部分）の盛土復旧作業を主に実施している。



安全対策の実施状況 – 主な工事状況② –

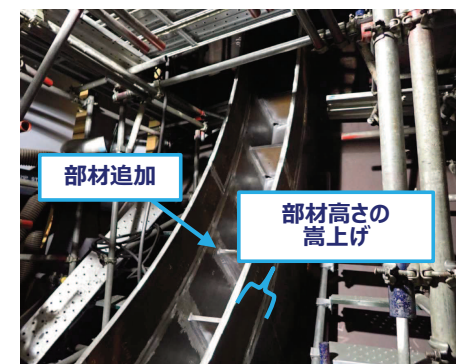
- 基準地震動に対する耐震性を確保する観点などから、圧力抑制室本体や内部の構造物に対して、新たな補強部材を追加することで耐震性向上を図る工事を進めている。
- 直径約 1.5 m の開口部（2 箇所）からの内部へのアクセスや、構造物が入り組む狭隘な場所で複数の工事を平行して実施。
- 工事は、2022年3月から、耐震補強のための補強部材の溶接作業等、本格的な工事に着手し、直径約 1.0 m の圧力抑制室内側の補強工事はほぼ完了しており、現在、ベント管などの内部構造物の補強工事を行っている。
- 2023年11月までの工事完了を目指し取り組んでいる。



※原子炉格納容器の一部で、大量の水を常時貯蔵しており、非常時に原子炉格納容器の圧力を下げるための円環形（ドーナツ状）の構造物



圧力抑制室の実機模型



耐震補強工事イメージ



開口部（約 1.5 m）



内部の工事状況

安全対策の実施状況 - 主な工事状況③ -

■ガスタービン発電機（車両は電気品建屋内部） ※万一、外部電源（送電線5回線）や非常用ディーゼル発電機が使用できなくなった場合に原子炉建屋や緊急時対策建屋に電力を供給する設備。現在、ガスタービン発電機用の電路および接続配管の設置工事を実施中。



発電機車
出力3,600kW×2台

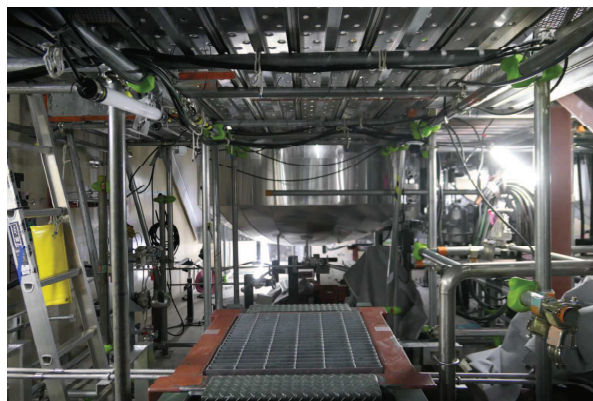


制御車×2台

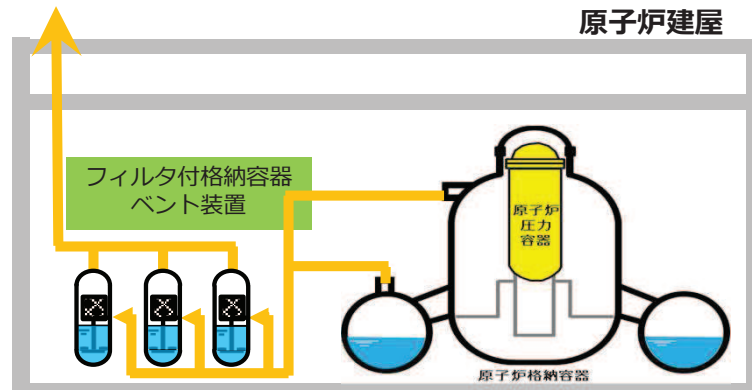
■原子炉格納容器フィルタベント系 ※格納容器の過圧破損を防止するために行うベントの際に、放射性物質の放出を1000分の1以下に低減する装置。本体は設置済みであり、現在は耐圧試験を実施中。



原子炉建屋への据付状況

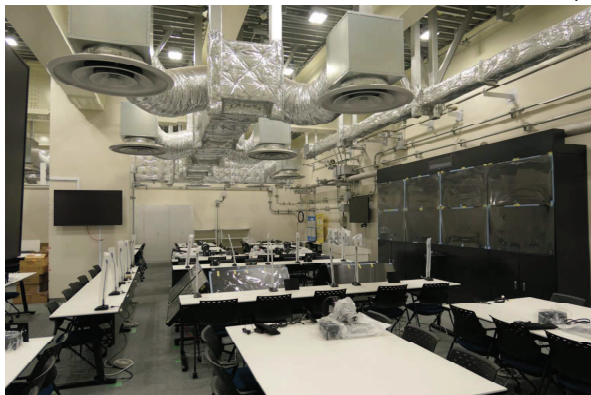


現在の工事状況



系統概要図

■緊急時対策所 ※大規模な原子力災害が発生した場合に、現地対策本部となる指揮所機能の強化を目的として、電源設備、通信連絡設備、居住性等を確保した緊急時対策所を整備。現在、建築工事および機電工事（空調設備、電源設備など）を実施中。



緊急対策室

※断面図イメージ

